

日和佐中通信

2024(令和6)年10月

第6号

発行責任者:影田博徳



心に翼

猛暑が続いた夏が終わり、ようやく心地よい秋風が吹く季節へと変わりつつあります。朝晩の気温が下がり、山沿いの地域では、木々も色づき始めています。秋は自然の恵みが豊かに感じられる時期とともに、「スポーツの秋」、「読書の秋」、「芸術の秋」などにたえられます。日中生にも自分なりの「秋」を見つけ、「実りの秋」にしてみたいと思います。

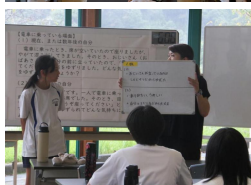
私事ですが、10月に入り少しさみしい夜が続いております。NHKの朝ドラ「虎に翼」が終了したのです。毎日録画をし、夕食時に欠かさず観ておりました。「虎に翼」は、日本国憲法第14条を基本に据え、社会の中で生きづらさを感じてきた人々にスポットを当てたことにより、多くの視聴者から、特に若い世代から好評だったようです。私もいろいろ考えさせられました。

日本国憲法第14条には法の下での平等が定められています。第一項は「すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」と定められています。しかし、戦後間もない社会の中ではなかなか実現できておらず、差別に苦しんできた人々が描かれ、現代にまで通じる課題だと改めて感じる事ができました。しかし、その課題から逃げず、真正面から立ち向かう。正しいことを正しいと言えない時代に、勇気をもって自分の意見を伝える。このドラマで描かれた人々の、そのようなたくましい生きざまが深く心に残りました。そして、正しいことを正しいと言える今を生きている私たちは何をしなければいけないのか、私たちは自分の意見を強くもち、その意見を発信しているのか、そんなことを考えました。

現在も人権課題は数多く残っています。その課題を解決する力は教育だと私は考えます。「心の教育」です。人権を大切にされ安心して育った子どもたちは、やがて大人になり誰もが人権を大切にされる社会を築いてくれると信じます。「心の教育」を通して、多様な価値観の人々が尊重される社会、そして誰もが安心して生きていける社会の担い手になってくれることを願っています。

～授業風景～

- ❖1年生「高齢者と共に生きる」
- ❖2年生「高齢者と共に生きる」
- ❖3年生「同和問題(結婚差別)」



～人権講話～

- ❖1年生「性の多様性」
- ❖2年生「防災教室」

応援ありがとうございました

9月28日(土)・29日(日)の二日間、南部Aブロック新人大会が各会場で開催されました。引退した3年生からバトンを受け継ぎ、懸命に戦う1・2年生の姿にたくましさを感じることができました。選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。そして保護者の皆様、あたたかいご声援ありがとうございました。



ありがとう

〇朝夕と日中の寒暖差が大きくなってきました。更衣については移行期間を設けながら、柔軟に対応させていた月日だいております。季節の変わり目で体調を崩しやすい日曜日も続きますので、ご家庭でも注意喚起をよろしくお願い致します。

